

5. 麻酔科臨床研修プログラム（必）

1. はじめに

2年間の研修期間中、1年目の4週が麻酔科の研修期間となっている。

卒後の砂に水がしみ込むような何でも吸収できる新鮮な時期にやる気がありさえすれば、毎日毎日新しいことが覚えられる麻酔科研修を体験して頂きたい。

医師の資格を得たからには、教わるという姿勢ではなく、自分で学ぼうという態度を示して頂きたい。

短期の研修ではあるが、基本を身につけることによって、その後、何科に進むにしても役に立つ知識と技術を体得してほしい。

2. 研修期間

2年間の研修期中、1年目の4週。

2年目には希望により選択研修も可能。

3. 研修の目標

<一般目標>

- 1) 麻酔に関する生理学・薬理学・解剖学の知識を整理する。
- 2) 手術患者の術前の全身状態を把握する臨床的能力を身につける。
- 3) 手術患者の術前の全身状態を把握するうえで必要な検査をオーダー、評価する知識・技術を身につける。
- 4) 術前診察により、手術患者の評価を正しく行い、麻酔法、術中の全身管理法の計画を立てる。
- 5) 麻酔手技を習得することで、医師として基本的に必要な緊急時の救命処置を身につける。

<行動目標>

- 1) 医師・患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームドコンセントが実施できる。
- 2) リスクの低い患者の腰椎麻酔を行うことができる。
- 3) リスクの低い患者の全身麻酔の導入、気管内挿管ができる。
- 4) 術中患者管理における基本手技を体得する。
- 5) 麻酔・手術経過を評価できる適切な麻酔記録を作成できる。
- 6) 適切な覚醒、抜管、あるいは退室時期を判定する能力を身につける。
- 7) 周術期の患者を管理する能力を身につける。

4. 勤務時間

原則として厚生労働省の定める労働基準に準じて行なわれる。

月曜日から金曜日までの午前 8 時 30 分から午後 5 時までと土曜日の午前 8 時 30 分から午後 1 時までを勤務時間と考えているが、研修期間中の積極的研修を期待します。